



# 圧倒的な経験・知識量が強み 経営者の参謀を担うコンサルタント



株式会社 ベーネテック

〒206-0803  
東京都稲城市向陽台 1-17-13  
URL <http://bene-tech.tokyo>

Company data

代表取締役

**狩野 国臣**

早稲田大学理工学部卒業後、大学院に進学。当時、最年少で中小企業診断士の資格を取得する。学業修了後は大手電機メーカーにIT技術職として就職し、定年まで35年間勤め上げる。プロジェクトマネジメントや製品開発、参謀役などの経験を活かして起業した。

伸ばしていく企業にはある共通するパターンがあったということです。

端的に言えば、成功している企業は自社の製品やサービスに付加価値をつけることを強く意識しています。そして、経営者はそれを実現するための明確なビジョンを掲げ、従業員を引っ張っていきただけのリーダーシップも備えている。つまり、当たり前のことをしっかりと実現しているんですね。

杉田 なるほど。付加価値の追求が好循環の鍵を握っているわけですね。

狩野 ええ。そこで私もその発想を軸に、会社が個別に抱える問題点や方針に応じたコンサルを行っていきます。顧客企業様にご訪問するのは月に1度ですが、その間は情報収集や経営者のお困りごとを解決するための対策、ストーリー創りに十分な時間を費やしています。

杉田 企業を全力で応援しておられると。狩野 そうして自分が携わった企業の業績が伸びたときは、心から幸せを感じられますからね。当面はコンサルに磨きをかけながら、いずれは今よりも多くの企業をサポートできたら嬉しく思います。



杉田 中小企業に向けた経営コンサルティングが主業務だそうですね。

狩野 はい。主にイノベーションによる高付加価値経営を実現するためのサポートを行っています。コンサルティングといっても担うのは経営指導ではなく、経営者のパートナーの役割。具体的には会社のビジョン創りからプロジェクトマネジメント、情報セキュリティ、人材育成など多岐にわたる経営者のお困りごとを解決へと導く支援を手がけております。

杉田 もともと、現在のようなお仕事に就かれていたのですか？

狩野 いえ、中小企業診断士の資格は大学院時代に取得していましたが、当時はコンサルに強い興味があったわけではなく、卒業後は技術者として大手電機メーカーに就職しました。そこで35年間、定年まで勤める中で、最後の4年間は数

百人の技術者をまとめるセンター長の補佐を任されましてね。その経験をきっかけに、現在の参謀のような立ち位置に面白みを感じるようになったんです。

杉田 その重要なポジションで、どのような業務にあたっていたのでしょうか。

狩野 イノベーションや新しいものの創り、最新技術調査など、かなり難易度の高い問題の解決を求められていました。情報を得るため、IT業界を牽引する1000人以上のリーダーにもお会いしましたよ。そうして人脈を広げていくうちに、業界全体を俯瞰できるようになったんです。

杉田 その中から、何か見えてきたこともあったのでは？

狩野 そうですね。1つは、現状を的確に把握し、それを踏まえて先のことまで予測できるような人間はそうそういないということ。そしてもう1つは、業績を

## 私のミッション

前向きで一生懸命な経営者のパートナーとして「イノベーションによる高付加価値経営に向けたビジョン実現のための仕組み創り」をお手伝いすること。

そしてお客様からの「ありがとう」が最高のやりがいです。

中小企業診断士 米国PMP ITコーディネータ  
情報セキュリティ管理士 マイナンバー検定2級

Guest Comment

**杉田 かおる (女優)**

前職時代に培われた豊富な知識とご経験が大きな強みとなっている狩野社長。お話も理路整然として非常に分かりやすく、それでいて相談しやすい気さくなお人柄でいらっしゃいました。経営者の方にとってこれほど頼もしいパートナーもそういないのではないのでしょうか。

